



環境省
エコアクション21
認証番号 0013281

エコアクション21 環境経営レポート

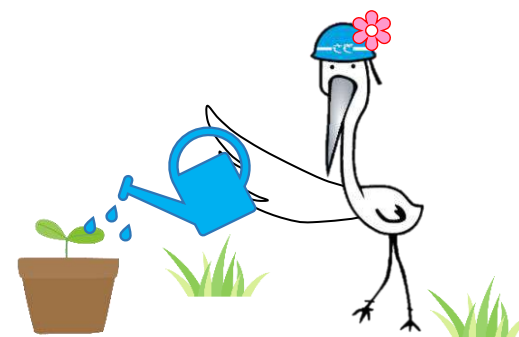
対象期間：2024年7月～2025年6月

有限会社 鷺研り

大剣環境センター
本社・北ノ作処分場
工事部・茨城営業所

発行日：2025年 9月20日
改定発行日：2026年 6月23日

目次



1. 組織の概要	・・・	3	ページ
2. 認証登録の対象	・・・	4～11	ページ
3. 環境経営方針	・・・	12	ページ
4. 環境経営目標及び実績と評価	・・・	13～16	ページ
5. 環境経営計画の取り組み結果	・・・	17～19	ページ
6. 環境関連法規の遵守状況並びに 違反、訴訟などの有無	・・・	20	ページ
7. 代表者による全体評価と見直し結果	・・・	21	ページ

I.組織の概要

商号	有限会社 鷺 斫り
設立	1978年7月1日
本社	〒974-8221 福島県いわき市小浜町中ノ作129番地の2
北ノ作処分場	〒974-8221 福島県いわき市小浜町北ノ作128番地の1外
大剣環境センター	〒971-8183 福島県いわき市泉町下川字大剣326番13
工 事 部	〒974-8221 福島県いわき市小浜町中ノ作129番地の2
茨 城 営 業 所	〒319-1715 茨城県北茨城市関南町神岡下字北浜田302番地1
代 表 者	代表取締役 鷺 弘海
資 本 金	300万円
売 上 高	1,890百万円 (2024年度)

事業規模		2022年度	2023年度	2024年度
売 上 高		1,635 (百万円)	1,314 (百万円)	1,890 (百万円)
従 業 員 人 数		58人	49人	45人
北ノ作処分場面積		45,925.13㎡	45,925.13㎡	45,925.13㎡
大剣環境センター 処分場面積		46,683.10㎡	46,683.1㎡	46,683.1㎡

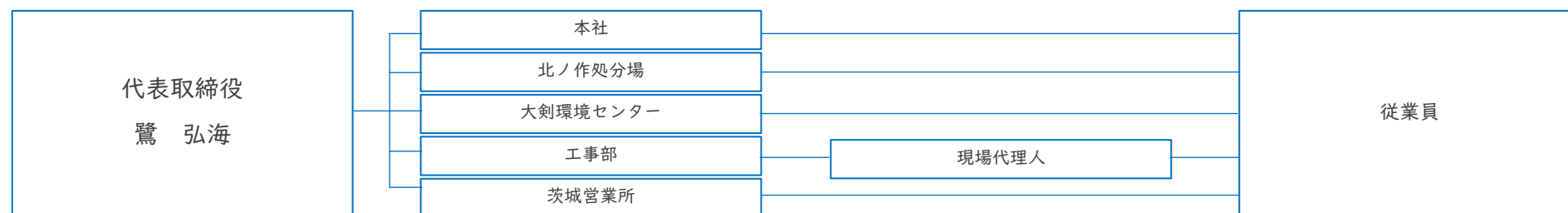
事業内容	建設業	産業廃棄物収集運搬業
	・解体工事業	産業廃棄物処分業（中間処分・最終処分）
	・とび・土工工事業	一般廃棄物収集運搬業
		一般廃棄物処分業（中間処分）

従 業 員 数 45名

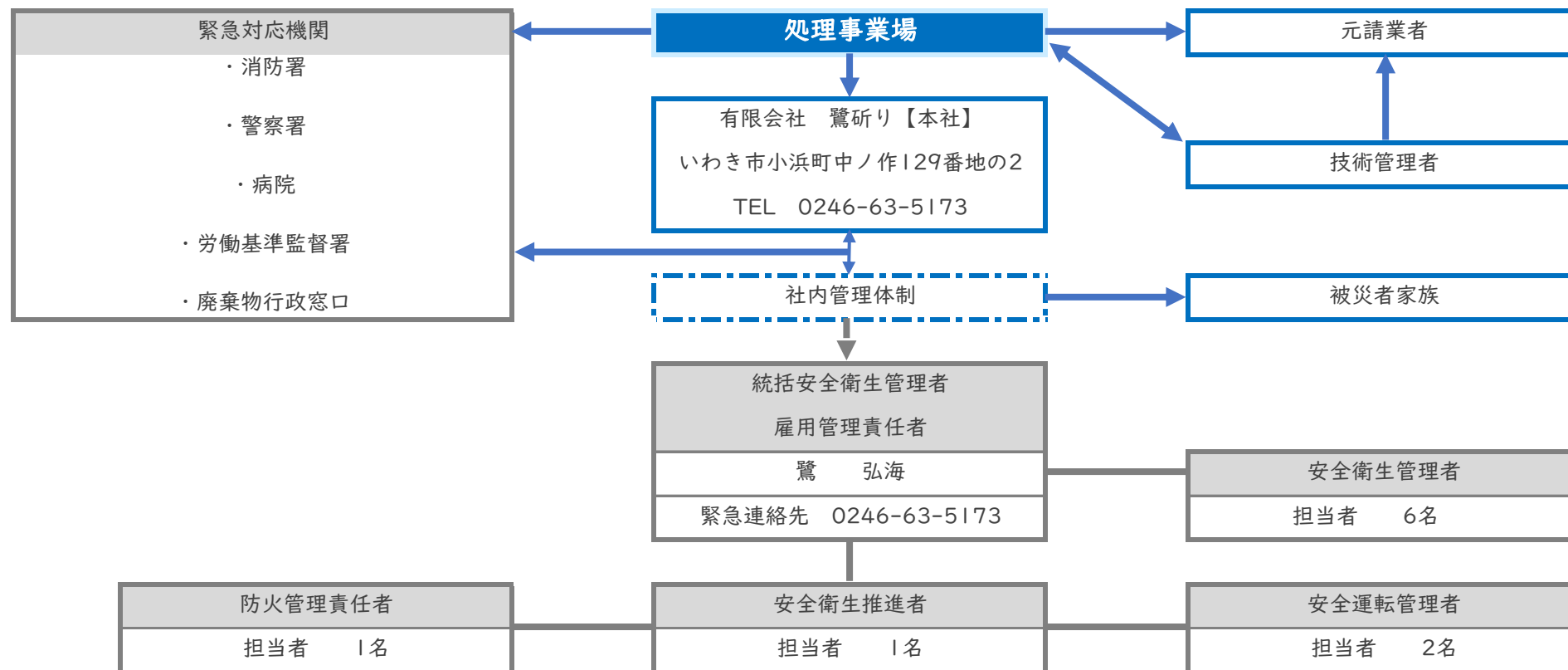
認 証 登 録 の 対 象 範 囲 全事業所及び全事業活動を対象とする

2. 認証登録の対象

対象組織図



非常時緊急連絡体制図



※事故等があった場合は作成した体制図に基づき関係機関に連絡するものとする※

収集運搬業許可

○産業廃棄物収集運搬業

【許可番号】 福島県 第00709034310号

【許可年月日】 令和8年1月23日

【有効期限】 令和12年11月12日

【許可番号】 茨城県 第00801034310号

【許可年月日】 令和8年1月8日

【有効期限】 令和12年11月15日

○一般廃棄物収集運搬業

【許可番号】 いわき市 第24027号

【許可年月日】 令和6年10月10日

【有効期限】 令和8年9月5日

処分業許可

●産業廃棄物処分業（優良）

【許可番号】 いわき市 第09440034310号

【許可年月日】 令和4年2月22日

【有効期限】 令和10年11月8日

●一般廃棄物処分業

【許可番号】 いわき市 第24505号

【許可年月日】 令和6年10月4日

【有効期限】 令和8年10月3日

許可総括表

①産業廃棄物収集運搬業

【許可番号】 福島県 第00709034310号

【許可年月日及び有効期限】 令和8年1月23日～令和12年11月12日

【許可番号】 茨城県 第00801034310号

【許可年月日及び有効期限】 令和8年1月8日～令和12年11月15日

②産業廃棄物処分業（優良）

【許可番号】 いわき市 第09440034310号

【許可年月日及び有効期限】 令和4年2月22日～令和10年11月8日

一般廃棄物収集運搬業

【許可番号】 いわき市 第 24027 号

【許可年月日及び有効期限】 令和6年10月10日～令和8年9月5日

一般廃棄物収集運搬業

【許可番号】 いわき市 第 24505 号

【許可年月日及び有効期限】 令和6年10月4日～令和8年10月3日

産業廃棄物収集運搬業				許 可 品 目											
都道府県・政令市	許可番号	許可年月日 及び有効期限	事業の用に 供する施設	燃え 殻	汚 泥	造 ラ ス ・ ナ ット ・ ク リ ン	紙 く ず	木 く ず	金 属 く ず	繊 維 く ず	ガラスくず・ コンクリートくず 及び陶磁器くず	鉱 さい	が れ き 類	ゴ ム く ず	
福島県	第00709034310号	令和8年1月23日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
		令和12年11月12日													
茨城県	第00801034310号	令和8年1月8日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
		令和12年11月15日													
産業廃棄物処分業				許 可 品 目											
福島県	第00720034310号	令和7年5月23日	移動式破砕					●							
		令和12年12月31日													
福島市	第12420034310号	令和7年5月26日	移動式破砕					●							
		令和12年12月31日													
産業廃棄物処分業（優良）				許 可 品 目											
いわき市	第09440034310号	令和4年2月22日	中間 処 理	①破砕	●				●	●	●	●	●	●	
				②移動式破砕						●				●	
				③破砕・圧縮固化		●		●	●						
				④圧縮固化		●	●	●	●						
		令和10年11月8日	選別	⑤選別		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				⑥切断・選別						●					
				⑦移動式選別		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				⑧移動式造粒固化		●								●	
最終 処分	（埋立）安定型			●			●		●		●				
一般廃棄物収集運搬業				許 可 品 目											
都道府県・政令市	許可番号	許可年月日 及び有効期限	事業の用に 供する施設	（埋立） （石積み） （積み）											
いわき市	第24027号	令和6年10月10日		●											
		令和8年9月5日													
一般廃棄物処分業				許 可 品 目											
都道府県・政令市	許可番号	許可年月日 及び有効期限	事業の用に 供する施設	木質 ご み	繊維 類 ご み	紙類 ご み	プラスチック ご み	缶・ビン・リ ット ご み	加工 石 材 類 ご み						
いわき市	第24505号	令和6年10月4日		●	●	●	●	●	●						
		令和8年10月3日													

施設等の状況（産業廃棄物中間・最終処理） ～ 北ノ作処分場 ～

中間処理（移動式破碎）に係るもの

処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
移動式木くずの破碎施設（NO.2）	木くず	H21.9.25	616 t / 日（8時間）	いわき市内一円
移動式がれき類の破碎施設（NO.1）	がれき類	H29.9.27	1,808 t / 日（8時間）	
移動式木くずの破碎施設（NO.3）	木くず	R1.10.25	300.2 t / 日（8時間）	

中間処理（移動式選別）に係るもの

処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
廃プラスチック類等の選別施設（NO.1）	廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・鉋さい・がれき類・汚泥	H27.7.18	775 m ³ / 日（8時間）	いわき市内一円
廃プラスチック類等の選別施設（NO.2）	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・鉋さい・がれき類・紙くず・木くず・繊維くず	H27.7.28	1,627 m ³ / 日（8時間）	
廃プラスチック類等の選別施設（NO.3）	廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・鉋さい・がれき類・汚泥	R4.8.25	3,200 t / 日（8時間）	

中間処理（破碎）に係るもの

処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
移動式木くずの破碎施設（NO.1）	木くず		36 t / 日（8時間）	いわき市小浜町北ノ作128番1 外
移動式がれき類の破碎施設（NO.2）	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類		60 t / 日（8時間）	
がれき類の破碎施設	燃え殻・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・鉋さい・がれき類		680 t / 日（8時間）	

中間処理（移動式造粒固化）に係るもの

処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
移動式汚泥等の造粒固化施設	汚泥、がれき類	R3.4.8	1,188 t / 日（8時間）	いわき市内一円
移動式汚泥等の造粒固化施設（NO.2）	汚泥、がれき類	R5.3.23	1,320 t / 日（8時間）	
移動式汚泥等の造粒固化施設（NO.2）	汚泥、がれき類	R7.4.25	1,320 t / 日（8時間）	

最終処分（埋立）に係るもの

処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
安定型最終処分場	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類	S63.5.25	埋立地面積 8,443 m ² 埋立容量 73,105 m ³	いわき市小浜町北ノ作128番1 外

施設等の状況（産業廃棄物中間処理） ～ 大剣環境センター ～

中間処理（破碎）に係るもの

処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
木くずの破碎施設（NO.2）	木くず	H21.9.25	616t/日（8時間）	いわき市泉町下川字大剣326番13
木くずの破碎施設（NO.3）	木くず	R1.10.25	300.2t/日（8時間）	

中間処理（移動式破碎）に係るもの

処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
移動式木くずの破碎施設（NO.2）	木くず	H21.9.25	616t/日（8時間）	いわき市内一円
移動式がれき類の破碎施設（NO.1）	がれき類	H29.9.27	1,808t/日（8時間）	
移動式木くずの破碎施設（NO.3）	木くず	R1.10.25	300.2t/日（8時間）	

中間処理（破碎・圧縮固化）に係るもの

処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
廃プラスチック類の破碎施設	廃プラスチック類	H18.4.12	3.6t/日（8時間）	いわき市泉町下川字大剣326番13
木くずの破碎施設（NO.1）	木くず・繊維くず	H18.4.12	80.0t/日（8時間）	

中間処理（圧縮固化）に係るもの

処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
廃プラスチック類等の圧縮固化施設	廃プラスチック類・木くず・紙くず・繊維くず	R6.11.29	147.5t/日（24時間）	いわき市泉町下川字大剣326番13

中間処理（選別）に係るもの

処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
紙くず等の選別施設	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・鉱さい・がれき類・紙くず・木くず	H18.4.12	3.2t/日（8時間）	いわき市泉町下川字大剣326番13
繊維くず等の選別施設	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・鉱さい・がれき類・紙くず・木くず・繊維くず	H18.4.12	5.2t/日（8時間）	

中間処理（移動式選別）に係るもの

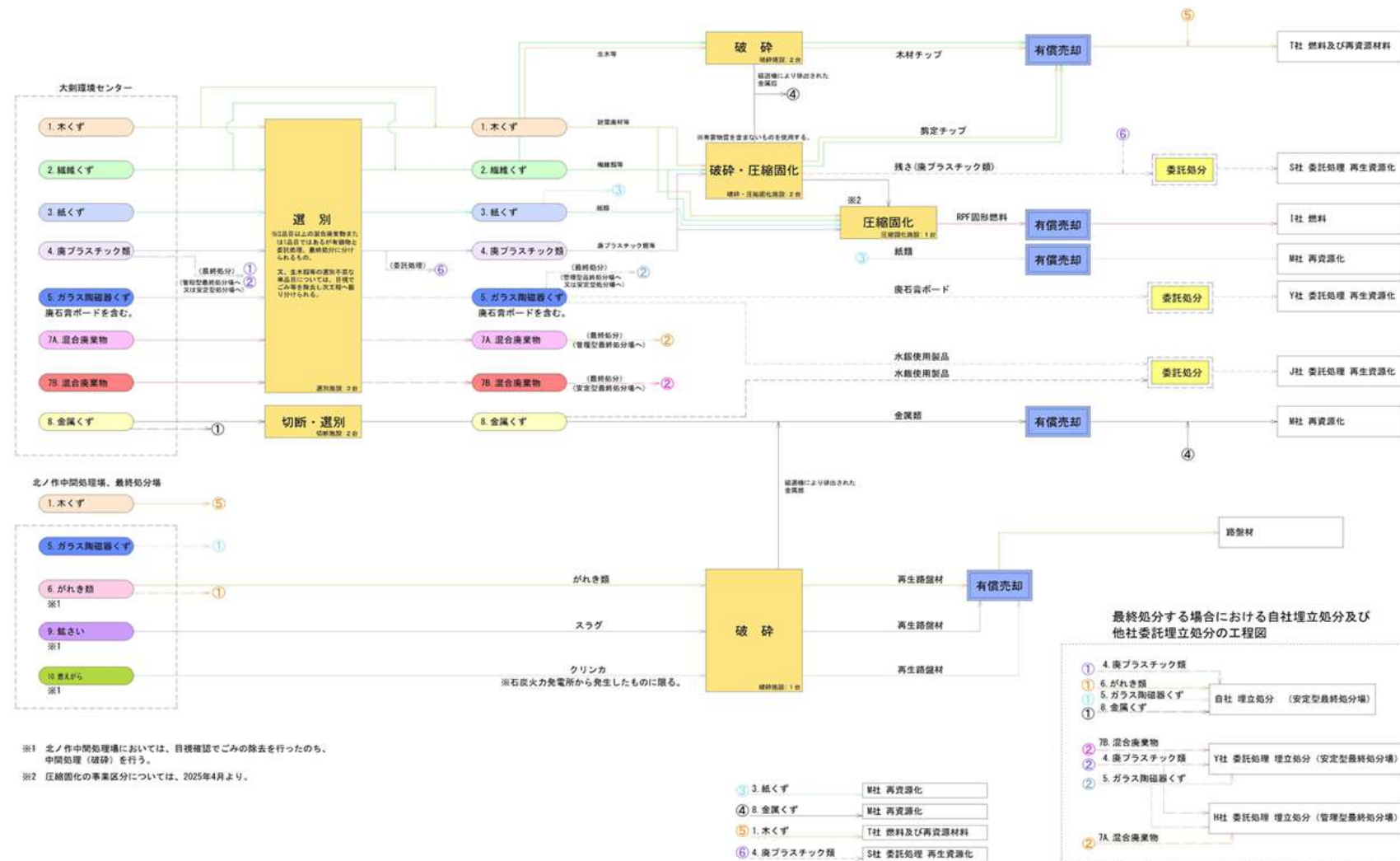
処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
廃プラスチック類等の選別施設（NO.1）	廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・金属くず・ガラスくず・鉱さい・がれき類・汚泥	H27.7.18	775m³/日（8時間）	いわき市内一円
廃プラスチック類等の選別施設（NO.2）	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・鉱さい・がれき類・紙くず・木くず・繊維くず	H27.7.28	1,627m³/日（8時間）	
廃プラスチック類等の選別施設（NO.3）	廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・鉱さい・がれき類・汚泥	R4.8.25	3,200t/日（8時間）	

中間処理（切断・選別）に係るもの

処理施設の種類	処理する産業廃棄物の種類	設置年月日	処理能力	設置場所
金属くずの切断施設（NO.1）	金属くず	H18.4.12	60.0t/日（8時間）	いわき市泉町下川字大剣326番13
金属くずの切断施設（NO.2）	金属くず	H18.4.12	44.0t/日（8時間）	

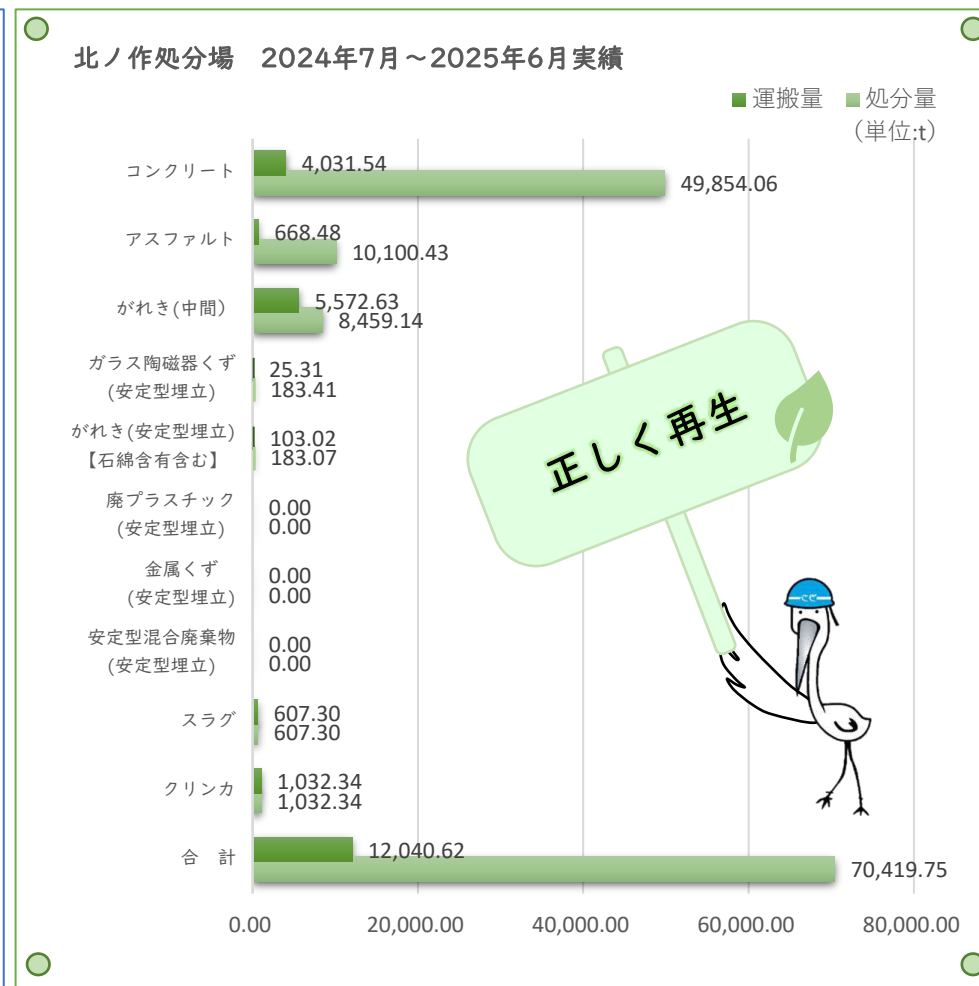
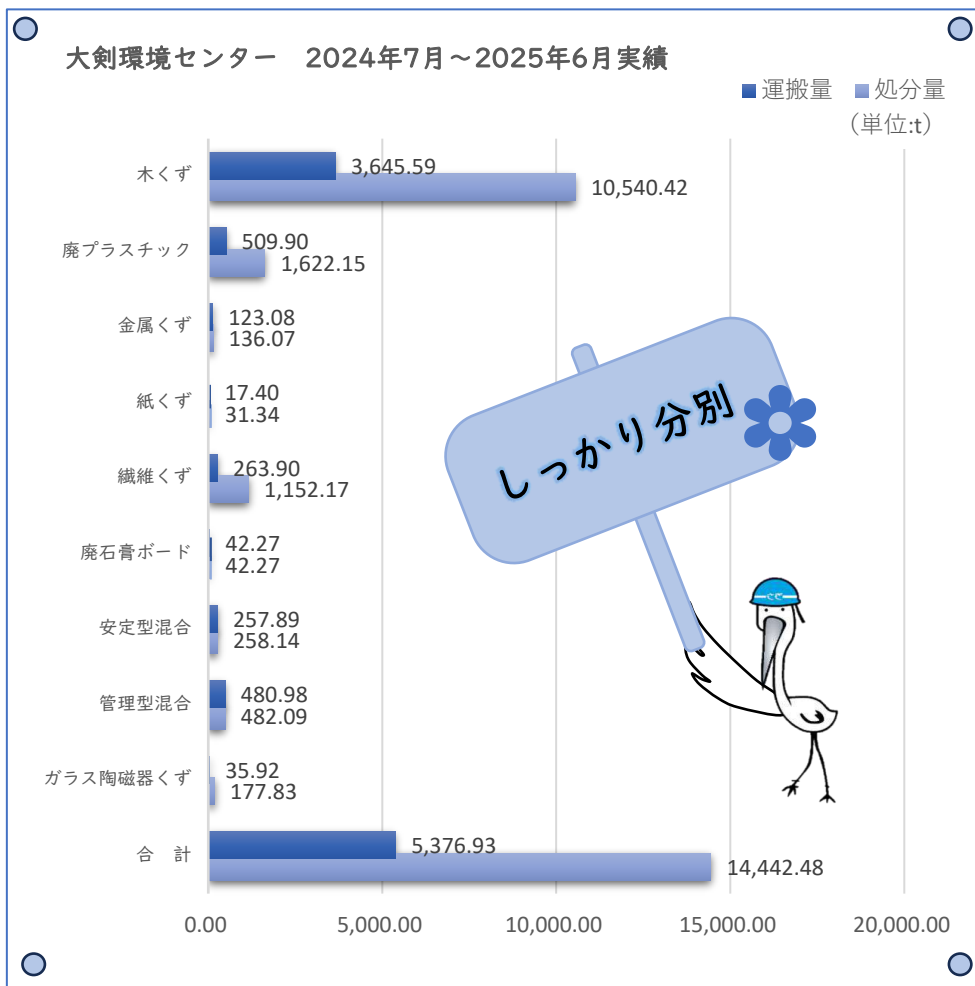
産業廃棄物処理工程概要図

【2024年7月～2025年6月】 有限会社鷺研り 大剣環境センター及び北ノ作中間処理・処分場 産業廃棄物処理工程概要図



※付帯施設及び前処理施設は除く。

産業廃棄物収集運搬・処理処分量 — 大剣環境センター・北ノ作処分場



※大剣環境センター、北ノ作処分場ともに 工事部の数量を含みます



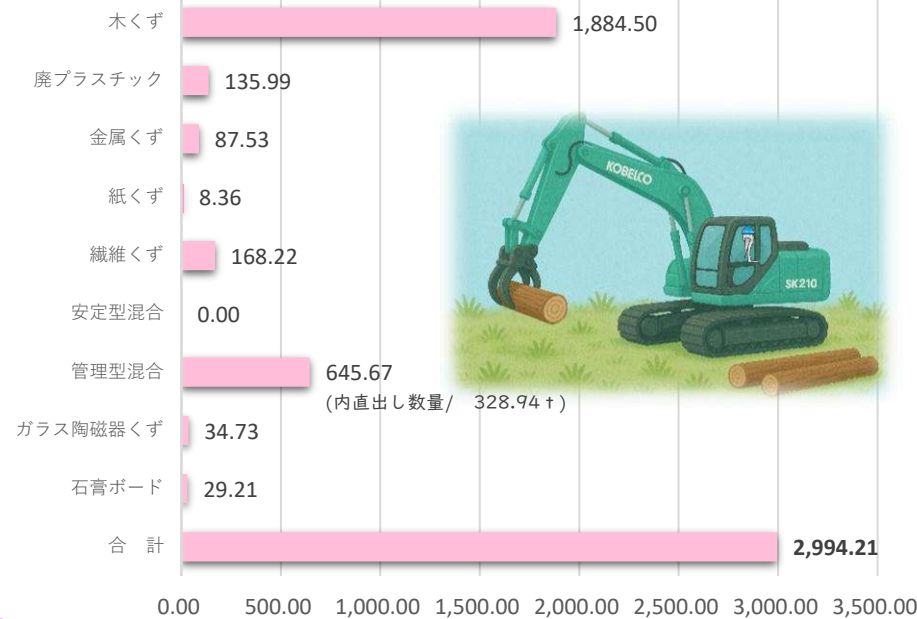
北ノ作最終処分場埋立状況



産業廃棄物収集運搬 — 工事部

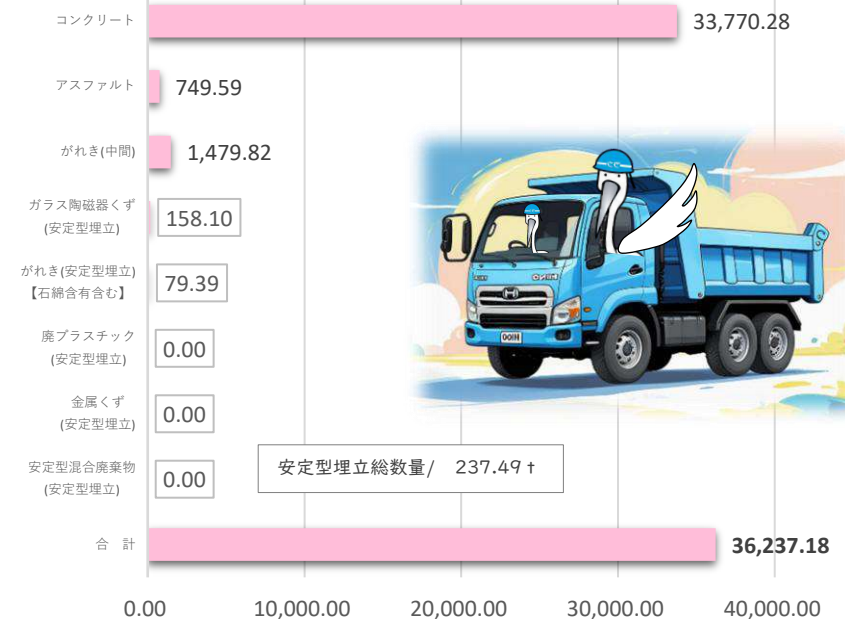
大剣環境センターへの搬入数量 2024年7月～2025年6月実績

(単位: t)



北ノ作処分場への搬入数量 2024年7月～2025年6月実績

(単位: t)



※工事部の排出量は、大剣環境センターと北ノ作処分場の数量に含まれる。また、残余容量に関しては北ノ作処分場実績参照

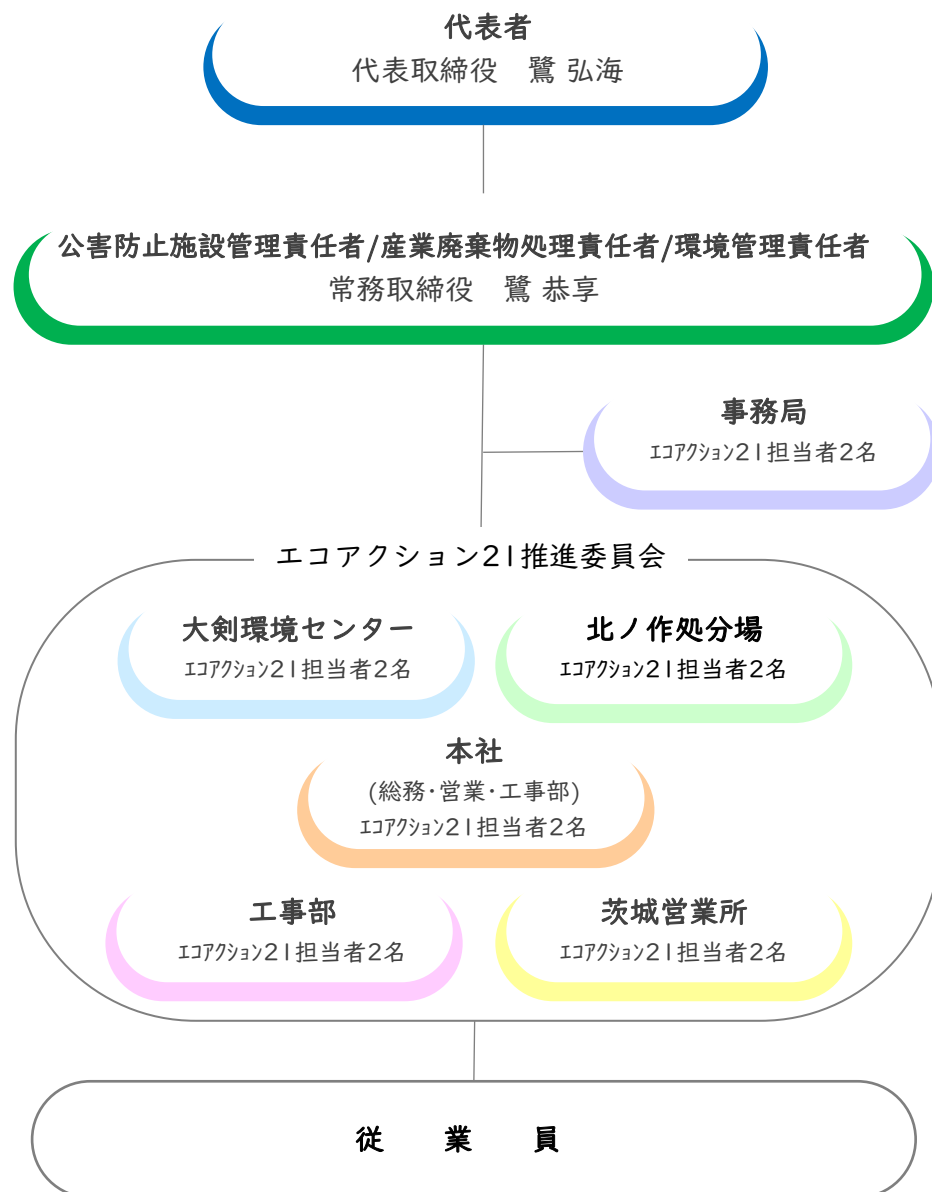
登録車両

3	†	ダンプ車	2	台	2	†	キャブオーバ	1	台
4	†	ダンプ車	1	台	3	†	キャブオーバ	1	台
10	†	ダンプ車	13	台	6	†	キャブオーバ	1	台
3	†	脱着式コンテナ車	1	台	8	†	キャブオーバ	1	台
4	†	脱着式コンテナ車	6	台	10	†	キャブオーバ	2	台
6	†	脱着式コンテナ車	1	台	トラクタ			4	台
8	†	脱着式コンテナ車	1	台	ダンプセミトレーラ			4	台
10	†	脱着式コンテナ車	3	台	合 計 台 数			43	台
25	†	脱着式コンテナ車	1	台	(※登録台数 2025年7月現在)				



エコアクション21実施体制組織図

作成日	改定日
2023.7.1	2026.6.23



役割分担表

代表者	- 環境経営全般に対する責任と権限 - 環境経営方針の作成と社員への周知 - 環境経営システム簿運用に必要な経営資源の準備 - 実施体制の構築 - 環境経営に必要な文書及び記録の承認 - 経営の課題とチャンスの明確化 - 全体の評価と見直し、指示
環境管理責任者	- 環境経営活動の推進 - 環境経営活動目標及び経営計画の作成 - 文書・記録の進捗管理チェック - 代表者への進捗状況報告 - 全体の評価と見直しのための情報報告 - 環境関連法規の取りまとめ - 外部からの苦情や要望等の受付・窓口 - 教育訓練 - 環境上の緊急事態への準備及び対応
事務局	- 各部門において、環境経営目標の達成に向けた計画の立案・実施を主導し、部門内の環境配慮活動を推進 - 結果を環境管理責任者へ報告
Ea21推進委員会	- 各部門のデータ取りまとめ - 環境負荷・環境取り組み自己チェックの実施 - 月別部門データの集計
従業員	- 活動計画の担当者として実行 - システムで定めたルール、取り組み事項を自発的・積極的に参加

3.環境経営方針

【環境方針】

有限会社 鷺斫りは、県内外に対しても、環境を重視した上で環境に対する思いやりを念頭に置き、適切な処理を行います。深刻化する廃棄物問題と時代の変化とともに環境保全・資源活用に対応できるよう、各種のリサイクル施設を設置し、より良いリサイクル製品を生産し、資源循環型社会の形成を日々努力します。また社員一丸となってエコアクション活動に取り組み、全事業活動において環境負荷を減らすことに努めていきます。

【活動方針】

- 1.環境に対する目標を定め、定期的な見直しと継続的改善に取り組みます。
2. 環境負荷を減らすために次の活動に取り組みます。
 - ・ 電気、燃料等の省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出量を削減します。
 - ・ 廃棄物の分別と再利用、再資源化を推進します。
 - ・ 産業廃棄物の適正処理をします。
 - ・ 各作業所、本社での水の削減をします。
3. 地域の環境活動に積極的に参加します。
 - ・ カーボンオフセット事業への参加。
 - ・ 自然災害等の緊急時対応できる自立型充電式LED投光器、蓄電装置の導入。
4. 関係する環境関連法規及び、その他の環境関連要求事項を、遵守します。
5. 環境方針を全社員に周知するとともに、環境保全への意欲能力の向上を図ります。
- 6.SDGsに取り組みます。



策定日： 2020年6月1日
改定日： 2025年7月11日
有限会社 鷺斫り
代表取締役 鷺 弘海

4.環境経営目標（中長期環境経営目標）及び実績と評価

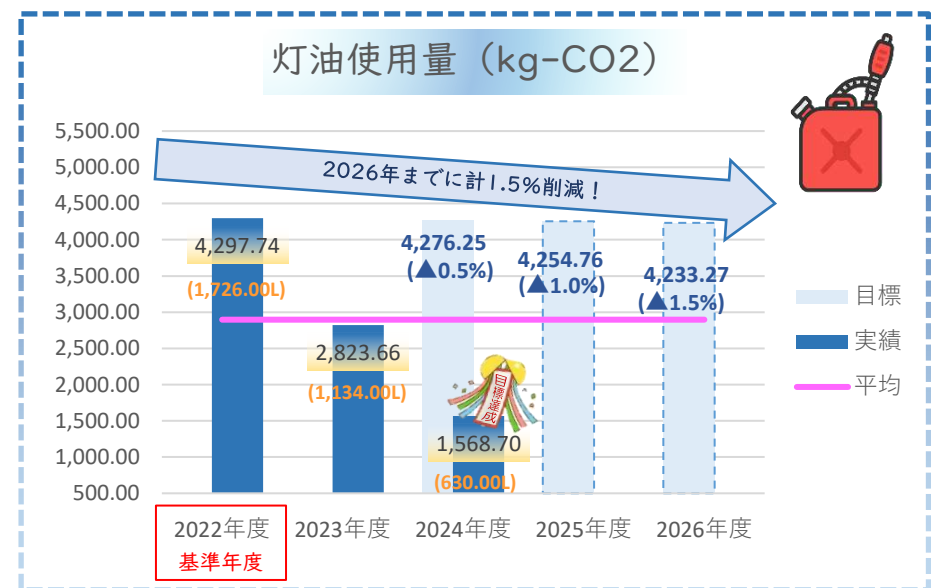
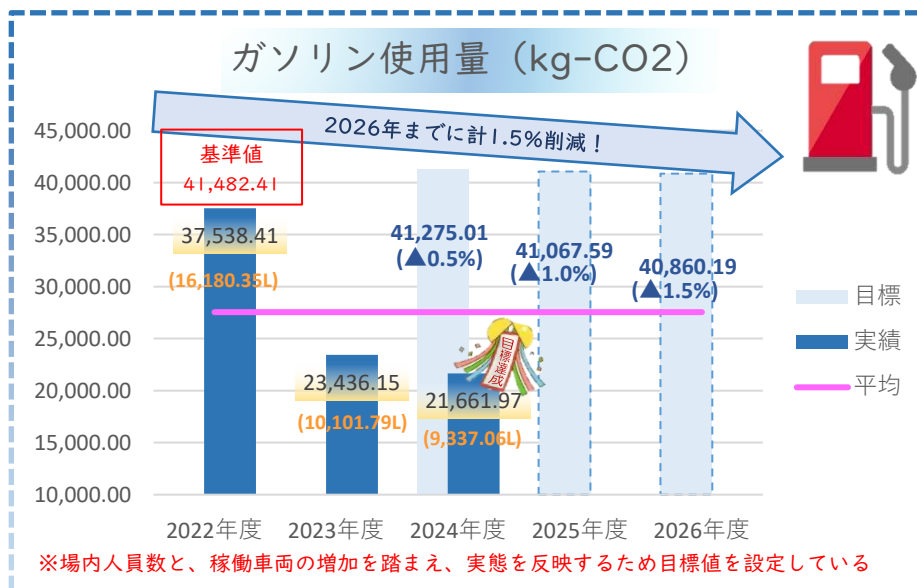
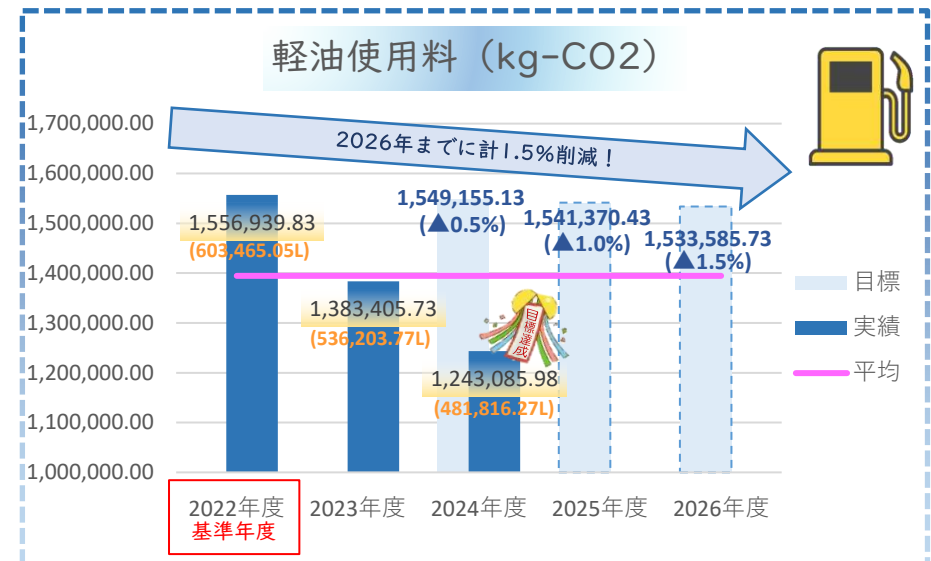
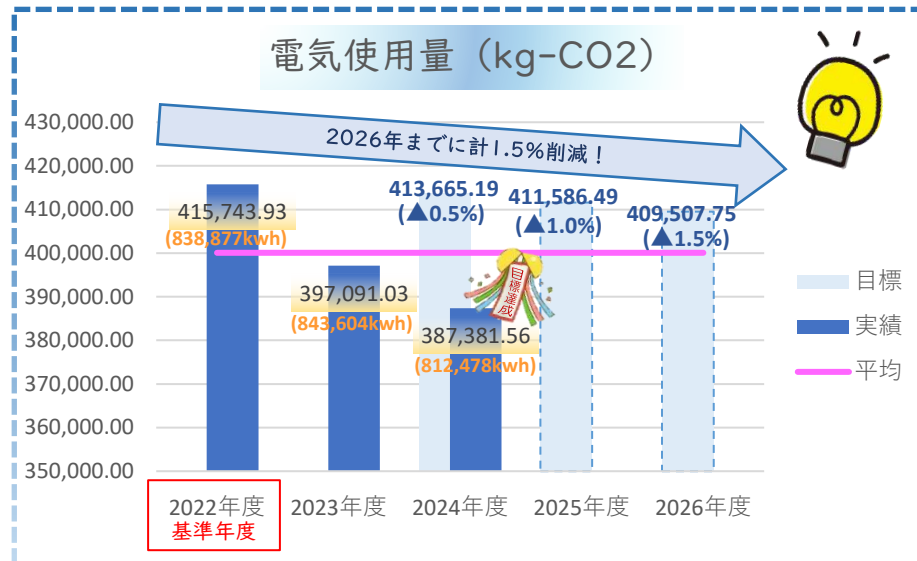
二酸化炭素排出量 全サイト

NO.1

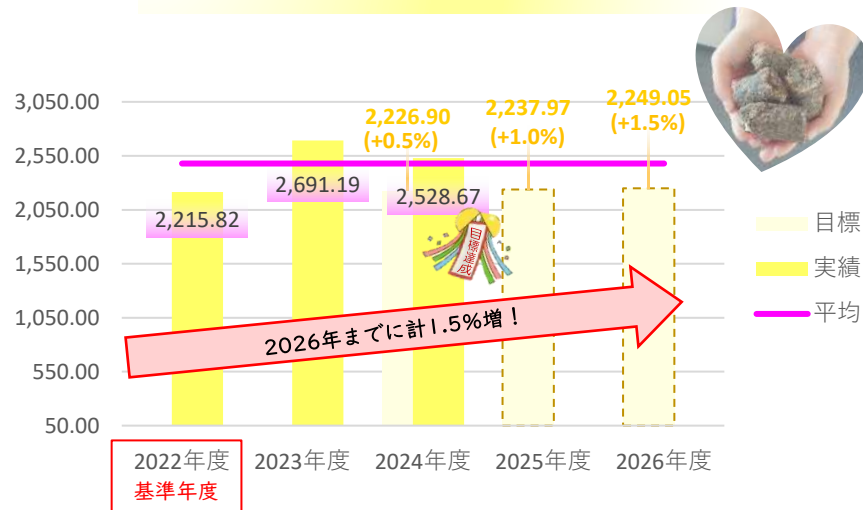
二酸化炭素総排出量(kg-CO₂) 【目標値】 2,008,371.58

【実績値】 1,653,698.22

【判定】 CO₂総排出量削減達成



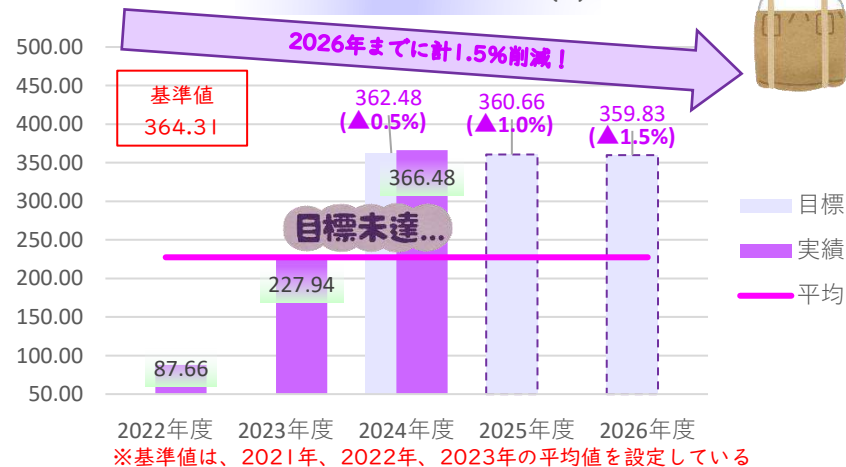
RPF製造量の向上(t) 大剣環境センター



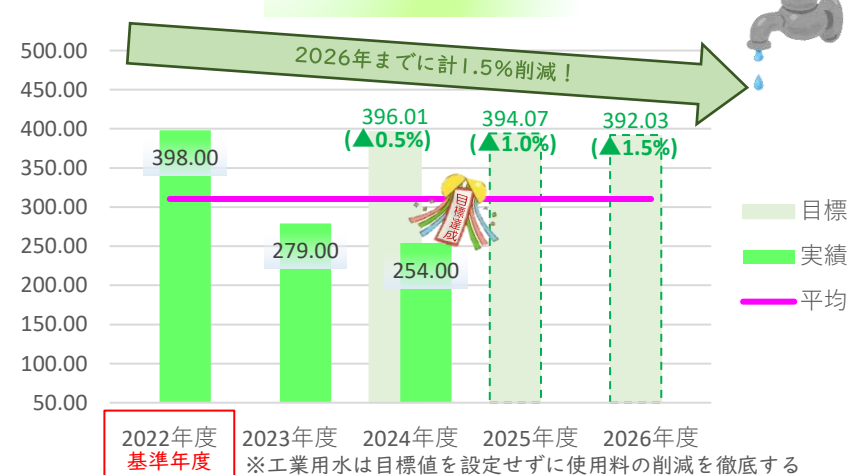
廃棄物の再資源率(%) 工事部



安定型埋立廃棄物(t)



上水使用料 (m³)



産業廃棄物の環境負荷

●収集運搬における環境配慮

社内ルールを確立。適切な運搬計画を立てる

対象：大剣環境センター、北ノ作処分場

廃棄物の削減再資源化率向上

●一般廃棄物

分別の徹底

対象：本社、茨城営業所

グリーン購入

●事務用品/車両・設備・機械等

環境配慮したものを、積極的に購入

対象：大剣環境センター、北ノ作処分場、本社、茨城営業所

地域貢献活動

●環境保護団体への協力。会社周辺の清掃活動

可能な限り社会貢献・地域貢献活動に参加

対象：大剣環境センター、北ノ作処分場、本社、茨城営業所

重機の自主点検及び油漏れの点検

●自主点検（車両・重機・アタッチメント）

特定自主点検・月次点検を行う

対象：大剣環境センター・北ノ作処分場・工事部

無事故・無災害

●0災害

事故・災害ゼロ

対象：大剣環境センター・北ノ作処分場・工事部

環境に配慮した工事

●クレームゼロ

粉塵・騒音等の防止

対象：工事部

その他の7項目については特定の目標値を設定していませんが、重要な環境経営目標として位置づけ、社内規定の遵守、地域貢献、および現場での環境配慮活動を今後も継続して実施いたします。

- ※ 2024年度より算定基準を見直し、2022年度を基準値として再設定。
- ※ 単年度の数値では実態を反映しにくい項目については、事業内容や変動状況を考慮し各項目毎、適正な方法により基準値を算出。
- ※ 電気排出係数（大剣環境センター・本社、北ノ作、工事部） 2024年度東北電力の排出係数0.477 k g-CO₂/k W hを使用。
- ※ 電気排出係数（茨城営業所）2024年度東京電力の排出係数0.408 k g-CO₂/k W hを使用。
- ※ PRTR対象物質の取り扱いがないため、環境経営目標にはあげていません。
- ※ 本目標は短期的な目標にとどまらず、次年度以降の継続的な改善を視野に入れた中期経営方針に基づくものです。
- ※ 詳細は別途事業所別に管理しています。

改定日： 2025/2/1

代表取締役： 鷲 弘海
環境管理責任者： 鷲 恭享

環境経営計画及び達成手段

期間：2024年7月～2025年6月（全サイト）

◇環境目標を達成するために、以下の具体的な取り組み・達成手段・責任者・スケジュールを定めた環境活動計画を策定。

環境責任者	作成者
鷺 恭	魚 岡

環境目標	責任者	達成手段	関連SDGs
1. 二酸化炭素排出量の削減	鷺 恭 享	1.エアコン設定温度を（冷房28℃暖房20℃）と設定。➡エアコン温度設定表示 2.昼間作業推進 照明使用時間の短縮 3.不要な照明の消灯 4.電気使用状況見える化（エグゼム）大剣環境センター 5.再生可能エネルギーを利用した外灯設置	 
①電気使用量の0.5%削減			
②軽油使用量の0.5%削減		1.アイドリングのストップ実施 2.運転方法の配慮 ➡急発進・急停車・空ふかしなどをしない 3.最適ルートの選定による走行距離短縮 4.出発前 空気圧等の車両点検実施 5.低燃費の重機、車両の更新計画、電気フォークリフトの導入 6.過積載をしないことを確認	 
③ガソリン使用量の0.5%削減			
④灯油使用量の0.5%削減		1.未使用時は、エンジン停止 2.従業員への防寒性の高い作業着を支給	 
2. 廃棄物の再資源化率向上	鷺 恭 享		
①リサイクル率の向上		1.廃棄物の分別徹底➡適正処理の周知 2.廃棄物の減量化、有用なものを再利用（再資源化）	
②一般廃棄物・産業廃棄物の削減 安定型埋立廃棄物の削減		1.廃棄物の分別徹底 ➡ 適正処理の徹底 2.契約いただいている協力会社への依頼➡分別徹底の周知	
①安定型埋立廃棄物の0.5%削減			
3. 水使用量の削減	鷺 恭 享	1.水回りに【節水】を呼びかける案内➡【節水】シールの貼付表示 2.雨水の再利用➡清掃時や、散水で利用 3.洗車時はホース・ストッパー・節水ノズル利用で節水の徹底	 
①水使用量0.5%削減			
4. グリーン購入	鷺 恭 享	1.エコ商品を積極的に購入	
①作業着や事務用品			
5. 地域貢献活動	鷺 恭 享	1.地域イベントへの協賛 2.関係団体主催ボランティア活動へ参加 3.現場周辺の清掃活動 4.小学生から高校生の職場見学会	   
①環境保護団体への協力			
②会社周辺の清掃活動等			
6. 重機等の自主点検及び油漏れ点検	鷺 恭 享	1.日常点検（車両、重機、アタッチメント） 2.特定自主点検の実施（車両、重機、アタッチメント）	  
①自主点検の徹底			
7. 無事故・無災害・環境に配慮した工事	鷺 恭 享	1.適正保護具の着用徹底 2.5 S運動の実施	 
① 0災害		1.工事関係者との意思疎通をよく図り、車両を運行させたり、重機作業の際、現場周辺環境へ配慮する 2.作業時間の配慮（早朝、深夜を避ける） 分別解体を行う 3.散水・粉じんマットの設置、シート付ダンプの使用 4.現場に問い合わせ先を明示	  
②クレームゼロ			

5.環境経営計画の取組結果

驚斫りのエコアクション ～地域とともに歩む、やさしい取り組み～

当社では、事業活動にとどまらず、地域社会や地球環境に配慮した取り組みを積極的に推進しています。
清掃活動や献血を通じた社会貢献、ユニセフや地域行事への寄付といった支援活動に加え、作業服の購入には「Jクレジット制度」を活用し、温室効果ガス削減への貢献を実現しています。
また、テレビ宣伝などを通じて広く発信し、社員一人ひとりが主体的に参加できる環境を整えています。
これらの活動を通じて、地域とのつながりを大切にしながら、未来に向けてできることを一つひとつ積み重ねています。



✿活動内容✿

2024.9.29	コミュタンフェスティバルへの参加（自社製の固形燃料RPFを展示し、リサイクルエネルギーの取り組みを紹介）
2025.4.26	猪苗代湖クリーンアクション2025vol.1 清掃ボランティア参加
2025.5.7	第70回 いわき花火大会協賛
2025.5.7	令和7年いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動会議
2025.5.21	Jクレジット 1t-CO2
2025.5.21	令和7年度いわき南地区安全運転管理者協会定期総会参加
2025.5.29	テレビユー福島『ふくしまの環境保全キャンペーン』スポットCM放送
2025.6.2	献血活動（レジリエンス(株)様敷地内にて）
2025.6.5	下川区 防犯・防災活動費協賛
2025.6.7	令和7年度いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動参加
2025.6.17	公益財団法人日本ユニセフ協会へ寄付
2025.6.28	猪苗代湖クリーンアクション2025vol.2 清掃ボランティア参加

地域と共に取り組むリサイクルエネルギー活動を、コミュタン福島で紹介し、自社製RPFを通じて循環型社会への取り組みも発信しました



📷スナップ集📷



猪苗代湖クリーンアクション2025

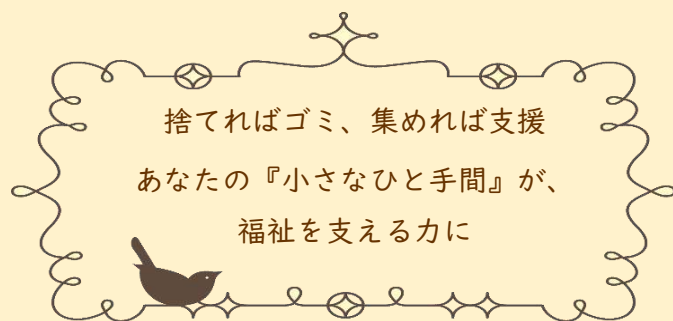


会社周辺の清掃活動



献血活動

R7いわきのまちをきれいにする運動



みなさん知ってましたか？ 毎日捨ててしまう使用済み切手が、実は福祉支援のための「資金」に変わることを！

当社では、「小さな社会貢献」として、使い終わった切手（消印付きのもの）を集める活動を推進しています。

収集した切手は、「社会福祉協議会」または「地域の社会福祉団体」を通じて換金され、その収益は地域の障がい福祉活動や車いすの購入費用などに充てられます。収集した切手は、社会福祉協議会や地域の社会福祉団体を通じて専門業者で換金されます。その収益は、地域の障がい福祉活動や車いすの購入費用などに充てられ、福祉推進に役立てられます。

「捨てればゴミ、集めれば支援」
—ゴミ箱に入るはずだった切手が、
誰かの希望につながる—

ぜひ、このエコアクションに
ご参加してみませんか！



社員一丸となって取り組んでいます！



全社員合同勉強会の様子

・従業員の意識改革・自社取組に対する再認識・環境配慮へつながる作業徹底の再確認 について
本社事務所2Fにて勉強会を行いました。（2024/11/16）



カーボンニュートラル

森林育成による二酸化炭素吸収量増加の狙いの観点から、北ノ作処分場入口にコキアを植樹しました。



☉ 有限会社鷺矸り NEWS LETTER

2024
10
号 外

■ 2024年10月12日・13日の2日間

福島県解体工事協会様主催の「Kaitai-1 グランプリ in FDC」が開催されました。

県内外から多くの解体業者が集結し、熟練の職人たちが日頃の技術と安全管理の腕前を披露。重機を駆使した迫力あるパフォーマンスや、正確で迅速な作業は来場者の目を引き、会場は熱気に包まれました。

また、企業ブース13社が出展し、最新の施工技術や安全対策を紹介。来場者は実際に工具や機材に触れる体験もでき、子どもから大人まで楽しめる内容となりました。家族連れで訪れた人々からは「普段見ることのできない解体の世界を知れて面白い」といった声も寄せられました。



イベントチラシ

■大会を終えて

今回の大会は、職人たちの技術を披露する場であると同時に、地域の皆さまに解体業界の魅力や安全への取り組みを知っていただく大切な機会となりました。東北で初めての開催に参加できたことをとても嬉しく思います。また、2日間で延べ8,000人ももの来場者が訪れ、大きな盛り上がりとなりました。たくさんの方々に支えられていることに感謝するとともに、これからも地域に根づき、信頼される解体工事業を目指して努力してまいります。参加された皆様、本当にお疲れ様でした。

一般社団法人 福島県解体工事業協会副会長 鷺 弘海

◆1日目 熱気あふれる競技◆

大会初日は、迫力満点の『メカタでドン』でスタート。ぴったり1トンを目指す重量測定競技に、職人たちの真剣な表情が光りました。

会場を華やかに彩ったのは、フラダンスショーとトランペットコンサート、さらにじゃんがら念仏踊り。華麗な踊りと軽快な音色が会場に響き渡り、観客も思わず笑顔に。

本日の目玉、重機解体ショー！重機でコンクリートや木材を破砕。間近で見る機会は減多になく、観客から大歓声！技術と文化が入り混じる一日となりました。



メカタでドン



重機解体ショー

◆2日目 重機の神技と笑いが炸裂◆

解体オペレーター技能大会開催。予選では、大割機のアタッチメントを装着した重機で、「ボールをダンク・スマッシュ・トライ」させたり、マルチグラップルで木材を運ぶ「バランスウッドパズル」に挑戦。職人たちの精密な操作に、観客からは驚きの声が続出しました。

決勝戦は「アルティメットピタゴラシューター」。重機を巧みに操り、サッカーボールをゴールに導く神技の連続に、会場は熱気で包まれ、競技は最高潮に達しました。

予選と決勝の合間には、ものまねコンサートも開催。笑いと驚きの2日目となり、観客も思わず熱狂の渦に巻き込まれました。



解体オペレーター
技能大会

6.環境関連法規の遵守状況及び、訴訟などの有無

適用される法令	適用される事項	評価
環境基本法	環境保全の基本理念に基づく企業責任。騒音・粉じん・廃棄物等による環境負荷軽減。地域との協調努力	◎
地球温暖化対策の推進に関する法律	重機・車両の燃料使用によるCo2排出抑制努力。省エネ型機材の導入やアイドリングストップ実施	◎
グリーン購入法	工事用資材や事務用品などで環境配慮型製品を優先購入する努力義務	◎
廃棄物処理法	廃棄物の適正分別、処理、委託契約、マニフェストの発行管理	◎
循環型社会形成推進基本法	5R(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リペア)重視。資源の再利用や廃棄物削減の意識	◎
フロン排出抑制法	自社エアコン、第一種特定製品、解体建築物のエアコン・冷蔵機器のフロン類は、解体前に回収・適正処理	◎
家電リサイクル法	家電4品目(エアコン・冷蔵庫・TV・洗濯機)はリサイクルルート確保と適正処理	◎
自動車リサイクル法	廃車等がある場合、フロン類・エアバック等の適正処理とリサイクル料金管理	◎
騒音 振動規制法	作業に伴う騒音・振動は【特定建設作業】として届出。測定器を使用し判断	◎
大気汚染防止法	アスベスト除去工事における届出義務。作業基準や飛散防止対策の遵守。ボイラーばい煙測定	◎
浄化槽法	浄化槽の設置・届出・保守点検・清掃法廷検査の実施。解体時に浄化槽は、汚泥の抜き取り・清掃等を適切に行う	◎
下水道法	事業所からの排水に関する規制。解体時には排水管・桝の切断や接続の管理	◎
建設リサイクル法	木材・コンクリート・アスファルト等の分別解体・再資源化。解体工事(80㎡超)で事前届出	◎

※ 環境関連法規などの一覧及び、それらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規の違反はなし

※ 関係機関等からの違反指摘、利害関係者からの訴訟等なし

評価

◎：全項目において遵守している / ○：遵守しているが、改善・見直し事項がある

△：要是正、または対応中 / ×：未対応、または違反事項あり



8.代表者による全体の評価と見直し・指示

(1) 全体の確認・評価

事 項	報告内容（要旨）	代表者の評価
①前回の指示事項への取組結果	電気・水道の節電節水を意識した具体的な行動の取り組みが報告された。	全社員が一丸となり、環境負荷低減に対する意識を持って行動していることを評価する。引き続き、現状に満足せずさらなる省エネ・節水効果の実現に向けた向上心と具体的な改善行動を望む。
②環境目標の達成状況、並びに環境活動計画の実施状況	環境目標に向かい、計画通りに活動を実施し、ほぼ目標を達成していることが報告された。	目標達成に向けた取り組みは全社員に適切に周知されており、活動が組織全体に浸透していることを評価する。この良好な結果と意識を継続的なものとし、環境活動の更なる定着と質の向上に努めることを望む。
③外部からの苦情・要望の受付及び処置状況	今年度は環境に関する外部からの苦情・要望の受付は「特になし」と報告された。（環境関連法規の遵守状況及び訴訟などの有無を参照）	地域住民や関係者との良好な関係が保たれており、環境面での大きな問題が発生していないことを確認した。この状況を維持するだけでなく、地域との協調性をさらに高め、日々の業務を通じて更なる地域保全に努めることを強く望む。
④環境法規等に対する遵守状況並びに定期確認結果	環境法規等の遵守評価の確認結果、現時点において問題がないことが報告された。	法令遵守体制は適切に機能していることを確認し、評価する。環境法規や関連する規制は随時改正されるため、引き続き情報収集を徹底し、法令遵守を継続的に推進する体制を維持することを望む。
⑤その他・法規等の動向・システム上の改善提案の取扱い	特筆すべき事項は「特になし」と報告された。	現時点で緊急に対処すべき事項がないことを確認した。

(2) 代表者による環境方針等の変更の必要性ならびに指示事項

項 目	変更要否	指示事項等	回答者	回答内容
①環境方針	否	特になし。（追加・変更すべき事項はないと判断した。）	鷺	特になし。（指示事項がなかったため、回答すべき事項はない。）
②環境目標	否	特になし。（追加・変更すべき事項はないと判断した。）	鷺	各サイトで設定した環境目標の達成に向けた取り組みを継続し、省エネルギー、資源循環、廃棄物削減等の環境負荷低減を全社で推進する
③環境行動計画	要	再生可能エネルギーを利用した外灯を2基導入。電気式フォークリフトを更に1台導入。環境負荷を減らすため、徹底した省エネルギー化と、再生可能エネルギーの活用に取り組みCO ₂ 削減を徹底すること。現状の電気使用量に対し、更なる抑制・削減計画を実施すること。また、そのための手段として、再生可能エネルギーや機器の活用、東北電力のエグゼムズなどの外部システムの活用を推進すること。	鷺	導入済み。これらの導入は、CO ₂ 削減に直結する重要な取り組みであり、導入効果が出ている。引き続き、この削減効果を最大限に活かすよう、全社員に改めてCO ₂ 削減の推進を周知徹底する路面パネルを導入し、再生可能エネルギーを活用している。再生可能エネルギーや省エネ機器の活用を進めており、さらに東北電力のエグゼムズも活用して、電気使用量の抑制を実施中である。
④実施体制	否	特になし。（追加・変更すべき事項はないと判断した。）	鷺	特になし。（指示事項がなかったため、回答すべき事項はない。）
⑤全体評価に関して	否	特になし。（これまでの指示事項及び評価をもって、今回の全体評価に関する指示は完結する。）	鷺	特になし。（指示事項がなかったため、回答すべき事項はない。）

次年度の目標と取組

次年度は、再生可能エネルギー設備や電動フォークリフト等の環境投資効果を最大限に活用し、CO₂排出量の削減に取り組む。東北電力エグゼムズを活用したエネルギー使用量の見える化を推進するとともに、基準値から電気・軽油・ガソリン・灯油使用量をそれぞれ1.0%削減することを目標とする。また、空調温度の適正管理、不要照明の消灯、アイドリングストップの徹底、効率的な運搬ルートを選定等を継続し、全社員参加による実効性の高い省エネルギー活動を推進する。

評価対象期間：2024.7.1～2025.6.30

実施日： 2025年10月10日

実施者： 代表取締役 鷺 弘海